

せらび

第九十五号

— 発行 —
社会福祉法人
せらび後援会

0144-75-2328

「ピアヘルパー養成事業」開始に 4月20日希望者向けに説明会を実施

ケアセンターアルドールでは、苦小牧地域精神保健福祉拠点センターの一部を活用してサテライト事業を開始し、ピアヘルパー養成講座の準備が整いました。ピアヘルパーとは精神疾患を経験した当事者（ピア）が自身の経験を生かして、同じ生活のしづらさ

込みがありました。精神障がいの方が日常を取り戻していくには、住み慣れた地域でその人なりの生活を保障できる支援が必要です。在宅事業を行うには、介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）の資格取得が欠かせず、養成講座では資格取得前に、介護の仕事で欠かさないコミュニケーションの学習や職場で役立つマナー、介護実習、パソコンの基礎学習などを含め、資格取得の本格的な学習に取り組む予定です。

員3名、世話人2名の体制になっていきましたが、この度、千歳市から委託料を増やしていただき、4月から相談員1名が増員になりました。また、新しい仲間が増えたことに加え、当センターでは開設以来初の男性2名体制になり、職員も皆、新鮮な気持ちで仕事にあたっています。今後はセンター内の活動もより充実させていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

援事業（退院促進事業）で、平成27年度は市内に3つある全ての精神科病院の患者さんの退院支援を行うことが出来ました。27年度は、植苗病院、道央佐藤病院、苦小牧緑ヶ丘病院から4名の対象者を出していただき、そのうち2名の方が退院し、それぞれに地域生活をエンジョイされています。入院中から家電製品や家具を見に行ったり、アパートを一緒に探したり、退院時には引越し荷物を運んだり、退院後も趣味のお店に一緒に行ったり、様々な支援を行いました。他の2名の方もピアサポーターによる支援を続けており、いずれも年内の退院を目指しています。

退院支援

新たな生活を築きまらるる

苦小牧地域生活支援センター

苦小牧地域生活支援センターは、北海道の委託で行っている精神障がい者地域生活支

今回の養成事業は、今後NPO法人ラポルトが実施する居宅介護事業等に関わるピアヘルパーとしての在宅支援活動も予定しています。



新商品続々と ケアセンターアルドール

ケアセンターアルドールでは商品開発に力を入れており、続々と新商品が登場しています。揚げずにヘルシーな『焼きカレーパン』『ごぼうサラダを包んだ』『ごぼうパン』が発売中の他、5月には『めんたいフランス』トマト、ハム、チーズ、バジルソースを挟んだ『パニーニ』ホワイトソース、ハム、チーズをサンドして焼き上げた『クロックムッシュ』が発売されます。

花ポランティア

ケアセンターアルドール



賑やかになったアルドール花壇

5月初旬、アルドールの花壇が賑やかに生まれ変わりました。せらび後援会会員の亀井寿郎様より、ポランティアでパンジー、マリーゴールド、ビオラ、ナゲシコなどを植えていただきました。花の種類が少なく寂しく感じた花壇でしたが、カラフルな花達が施設を出入りする人の目に止まり、明るい気持ちにしてくれています。

長く観賞できるよう手入れをしていきたいと思っております。ありがとうございます！

その他、5月10日には季節のあんぱん第2弾として、『うぐいすあんぱん』が限定発売されました。

今後も「安心と美味しさ」にこだわり、皆様に喜んでいただく商品を開発していきたいと考えております。



【 パニーニ 】

6月30日まで
期間限定価格
170円+税



【 うぐいすあんぱん 】
(120円+税)

久しぶりの新人
三浦祐(たすく)さん入職！
千歳地域生活支援センター

千歳地域生活支援センターでは、平成25年4月以降、相談

ご支援有難うございます

法人、施設、後援会への寄付と会費を納めていただいた方々です。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝し、報告させていただきます。(平成28年1月26日〜平成28年5月12日)

▽ 法人寄付

王子看護学校様、東北福祉大学様、札幌国際大学様、苦小牧共同募金会様

▽ 後援会会費

(平成27年度分) 石黒信雄様、北岸由利子様、小針尚様、藤田雄治様、藤田保子様、(平成28年度分) 藤田雄治様、藤田保子様

平成28年度の会費納入にご協力、お願い致します。

- ・ 年会費は左記の通りです。
- ・ 個人会費 一口 五千元
- ・ 団体会費 一口 二万円